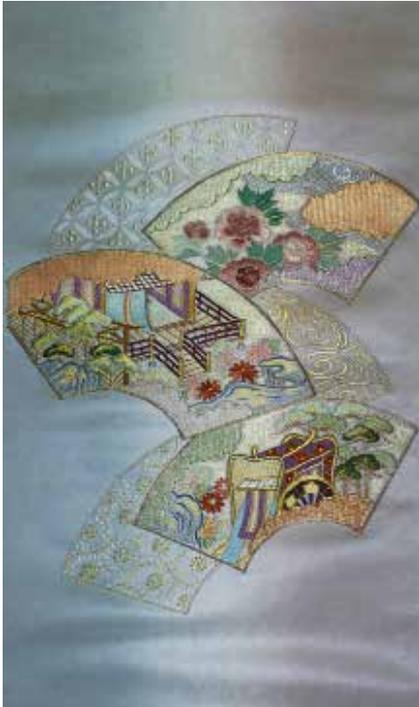


新春の寄贈品コーナー

# ししゅう 日本刺繍の技と美

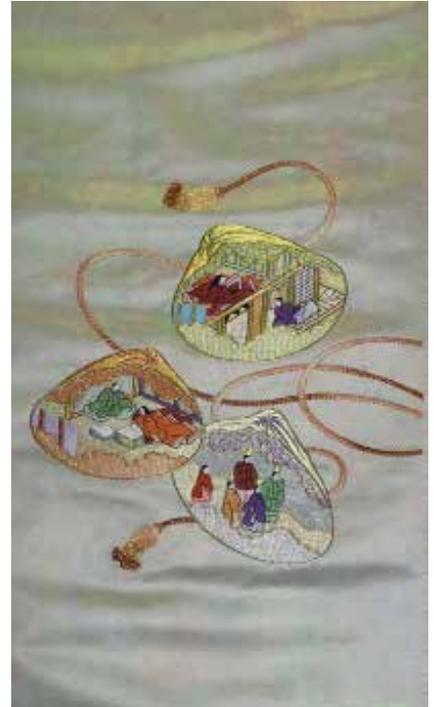
1月30日(木)まで開催



扇



くじゃくとおしどり



貝合わせ

帯にほどこされた艶やかな刺繍をご覧ください。日本伝統刺繍は、すべてひと針ひと針、絹糸を刺してつくられます。絵柄に応じて日本古来の豊富な伝統色を使い分け、ボリュームをもたせる部分は肉糸といって木綿糸で刺繍した上から絹糸を刺して立体感を出します。とても繊細なお仕事です。

これらの刺繍をほどこされたのは市内南原在住の錦織フミさんです。錦織さんは大正9年に現・横浜市瀬谷区の農家に生まれ、16歳のときに日本伝統刺繍を生業としていた叔父について三年間修業し、75歳になるまで仕事を続けられました。当時の美智子皇太子妃をはじめ皇室の方々がお召しになった着物の刺繍や、女優や相撲界など著名人が着用する着物や帯の刺繍も手がけられました。

錦織さんから寄贈された16本の帯と製作道具、それに明治時代に市域の旧家で着用されていた、日本刺繍が施された着物と帯の数々を展示いたします。むかしも今も、私たち庶民にはなかなか手が届かない豪華なお召し物です。どうぞこの機会にたっぷり日本の伝統美を味わってください。

常設展示室 2階 情報コーナー

## 相州だるま展 1月26日(日)まで開催中

平塚産の相州だるま。ここでは、だるまの木型と製造道具、並だるま・特産の金目だるま・おかめだるま、古いだるま、関東とその周辺のだるまを展示しています。市内に3軒あるだるま屋さんの特徴、昔と今のだるまの違い、相州だるまと他県のだるまの違い、これらのポイントがわかるように展示しています。

